



帯広協会病院 地域医療連携ニュース



エゾフクロウ 撮影 2021.2.28 池田町

新年のご挨拶

- 検診センターのご案内
- 放射線科医～読影医着任～
- 講演会のご案内

社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院

〒080-0805 帯広市 東5条南9丁目2番地
TEL:0155-22-6600 FAX:0155-24-7076

ホームページ
QR card



新年のご挨拶

阿部 厚憲 院長

2021年を迎えて

私たちは、地域に期待され、愛されている

～コロナ過後の地域医療体制を見据えて～



先行きが見えない不安と無力さに苛立ち、ただ右往左往していた2020年が過ぎました。しかも、新しい年もまた不安要素に満ちています。とても新春を寿ぐ気分にはなれない、暗鬱とした正月を迎えられた方が多かったかと思えます。でも敢えて新春の祝辞を申し述べさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

非日常へ

これほど長期に続く災害ゆえ、2019年までの普通の生活ができず、3密回避、孤食推奨、十勝からの出国禁止など、およそ人として当たり前に行われてきた日常は全否定されてしまいました。元来几帳面ではなく無沙汰ばかりだったのに、これほど友と会えない寂しさを感じたことはありませんでした。一方で出張や会議が減り、帰宅時間が早くなったのは密かな喜びでもあります。

これ以降、手探りではありましたが当院がなすべき役割を多角的に広げることができました。PCR検査の内製化、発熱外来、救急外来の整備、小児科えぞりず診察室設置などです。

一瞬の隙

コロナが院内に侵入するのではないかと恐怖に襲われながらも、感染対策室、看護部が中心となり、全職員が感染症に負けない体制を作ってきました。数年前から季節性インフルエンザ対策を管内多施設と連携し勉強会などを開き、互いを成長させていた効果が発揮されていると感じます。職員の健康、安全を担保しながら、地域に提供する医療の幅を広げていきましたが、一瞬の隙を衝かれて侵入を許してしまいました。コロナのしたたかさを目の当たりにした瞬間でした。職員を守り切れなかったことに改めて、己の無力さを悔やみ、さらに気を引き締め対策改善する毎日です。

- 1) 地域住民に必要とされる、最適な医療を提供すること
- 2) この地で生まれ、最後の時まで安心して生活できる福祉サービスを提供する
- 3) 次世代の医療を担う人材を育てること

地域住民からの期待と愛情

昨年1年間を振り返ると、コロナが日本国内で確認された2月、何ら準備もないまま発熱外来を開設し感染蔓延に備えました。直後からマスク、消毒薬などの医療資源が入手困難になり、なす術がないまま第1波に直面します。緊急事態宣言が発出されたゴールデンウィーク明け、地域住民、患者さん有志の方々から手作りフェイスガード、マスクなどの寄贈を受け、さらには手作りのアマビエさんが院内中に祀られ、当院の鎮守様になりました。当院は地域住民に期待され、愛されていると感じることができました。

これから

コロナは今後10年かけて普通の‘風邪ウイルス’になり沈静化すると言われております。長い戦いになると胆を据え、コロナ禍後の地域医療体制を見据えて、前向きに少しでも前進する運営を心掛けてまいります。これからも当院に対するご支援を切にお願い申し上げます。

阿部 厚憲

健診センター

当健診センターでは、現在、約350件の企業様にご利用いただいています。お客様が安心して検査を受け、ご自身の健康管理に繋げていただけるよう取り組み、要精密検査(一部予約可)もお受けいただけます。



辻井 智恵子 医師

健診内容 完全予約制

◆企業健診

検査項目は、ご希望に合わせて個別に設定することができます。

健診結果表は10日～2週間で届きます。

オプションの検査を同時に実施することが可能です。

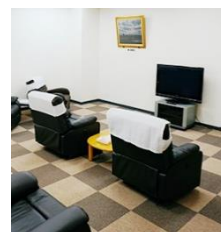
◆協会けんぽ(全国健康保険協会)生活習慣病予防健診

◆特定健康診査(被扶養者)

◆人間ドック(日帰り)・脳ドック(日帰り)

オプション検査の項目・料金については

当院ホームページ(<https://www.obihiro-kyokai-hsp.jp>) 健診センターをご覧ください。



放射線科

読影医着任しました

画像診断科で読影業務を担当している川畑といいます。画像診断科では毎日様々な種類の検査を行っています。そのうちのCTとMRIについて、画像からわかることや考察をレポートにまとめる業務を行っています。

CTやMRI検査は一度の検査で得られる画像数が多いため、小さな異常や、微妙な変化、撮像されたすべての臓器の異常などをくまなくチェックしようとすると時間がかかってしまいます。

そこで、放射線科医が読影を専門として行うことで、他の医療者の画像診断にかかる負担を軽くすることができますと考えています。直接患者さんと接することは少ないですが、疾患の早期発見や正確な病態把握にも役立ったりすることで、間接的によりよい医療につながるようがんばりたいと思います。



川畑 久美子 医師

CT・MRI・RI・骨密度の他院様のご依頼予約承ります。

地域医療福祉連携室 TEL 0155-22-6600 FAX0155-22-6620



第7回 帯広協会病院

病診連携WEB講演会

2021年3月26日(金) 19:00-19:30

講演

一般科で使う「精神科の薬」について



講師: 山本 浩貴

帯広協会病院 精神科・心療内科 部長

- 講演会当日までに使用されます機種(PC・タブレット・スマホ等)へWeb会議ツール「ZOOM」のインストールをお願いします。
- 事前にメールを頂けると、URLを記載したメールをお返し致しますので、スムーズにご参加いただけます。



- 日本医師会生涯教育講座の単位が必要な方は、実名での参加と、チャット機能で医籍番号および所属施設名をご連絡ください。

<https://zoom.us/j/97594237393?pwd=Sk1SSnRCQ0VDVHZ4S2VYZFZOUdRHdz09>

ミーティングID: 975 9423 7393 パスコード: EQGMg9DX

本講演会は北海道医師会の承認を得て、日本医師会生涯教育講座として開催いたします。

【CC 70 0.5単位】 後援: 帯広医師会・十勝医師会・北海道医師会

お問い合わせ先

帯広協会病院 地域医療連携室

TEL:0155-22-6600 (代) chiren@obihiro-kyokai-hsp.jp

地域医療連携室

地域医療連携室では、各医療機関からの事前予約や紹介状お持ちの方の受付・案内を担当しています。

ご紹介いただいた患者様がスムーズに受診できるよう配慮しております。

ご予約等でご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

なお、受付窓口を一般の患者様と分けておりますので、**ご紹介の患者様には「7番窓口」へお越し頂けますようお伝えください。**

これからもよろしく願いいたします。



地域医療連携室 竹林

社会福祉法人
北海道社会事業協会 帯広病院 (通称)帯広協会病院
〒080-0805 北海道帯広市東5条南9丁目2番地

<地域医療連携ニュース With編集>
地域医療福祉連携室 竹林佳美
テキスト

病院代表電話

0155-22-6600

地域医療福祉連携室FAX

0155-22-6620

地域医療福祉連携室 メールアドレス

Chiren@obihiro-kyokai-hsp.jp